

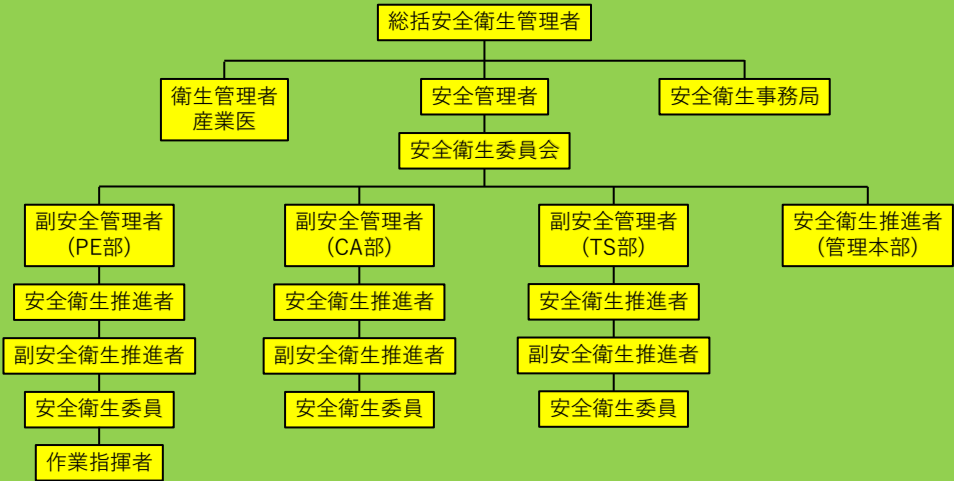


当社における 安全管理活動について

(株)コダマ 営業部 安藤

1

安全衛生管理組織図



2

令和3年度 安全衛生委員会活動計画

I. 基本方針

(株)コダマは、「**現場力**」の強化を基本理念におき、自ら問題を解決できる人材を目指し日々の努力を重ねていく。前年度から続く「**安全を文化に**」をより安定的なものとするため基本に戻り、一人一人が自分の身は自分で守り、他人にはケガをさせないことを心がけ、安全衛生活動を展開する。

取組期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日

3

令和3年度 安全衛生委員会活動計画

II. 活動計画スローガン

Stay Safe

～無事に家に帰ろう～

4

令和3年度 安全衛生委員会活動計画

Ⅲ.目標

年間活動計画を確実に実践し、協力会社を含めた「災害ゼロ」を目指す

Ⅳ.重点実施事項

- i.各作業に対し、起こり得る事故、災害を想定できるようになる。小さな事故、災害の可能性まで追求し考える。想定される事故、災害を防ぐ方法を考えていく。
- ii.小Grでの安全衛生パトロールを継続し、他部門も交えパトロールを行う。不安全行動や不安全状態を中心に洗い出す。
- iii.現在の安全作業責任者はさらに知識と経験を積み、これからの安全作業責任者を育成し、強化していく。コダマ社員・外注業者を問わず、全員が安全作業責任者となる人材を目指していく。
- iv.2020年からの働き方改革に伴い、引き続き年間有給休暇5日間の取得義務、時間外労働時間の上限規制を遵守するため、より効率的な働き方と生産性の向上を目指す。また、新型コロナウイルスの感染症を防止するため職員の行動指針を定める。

5

鑄造部の取組について

6

鑄造部 安全活動の変遷

安全会議の手法も変更

◎工夫

部で月の安全目標を決め、「各班」でその対策を行ってもらい、安全会議にて発表。

安全活動について当事者意識を持ってもらい、さらに各々の意見や考え方を活発化させたいという狙いがある。

2012年4月～



安全会議の風景

9

鑄造部 安全活動の変遷

今月の安全目標「保護具の着用」

造型班での各作業を洗い出し、必要な保護具を全て確認。写真を撮り班の休憩室に明示し、目で見て分かりやすくなった。

また、作業や保護具を洗い出したことにより、各作業でどのような危険が潜んでいるか改めて確認することができた。

今月以降も保護具を完全着用し、安全に作業を行っていく。



※明示の一例

10

鑄造部 安全活動の変遷

最後の災害以降、休業災害無発生記録を工場屋外に設置した。これには毎朝、ラジオ体操の時に目に入れる、外部の人の目につくところに置くことで緊張感を持ってもらう、といった意味合いが込められている。

また、名称を「**鑄造部安全掲示板**」とし、月の安全目標なども掲示するようになった。

他にも3S活動やR/Aなども積極的に行い、作業者の**安全意識向上**に努めた。



鑄造部安全掲示板



鑄造部見える化掲示板

11

鑄造部 安全活動の変遷

結果として、これ以降鑄造部で休業災害は無く、

2020年8月2日には

3000日

2021年5月現在もこの記録は続いており、
更なる安全活動へ従事していく。

12



3S活動

13



鑄造部 3S活動

一般的に職場の生産性を高める目的で行われる2S活動。
当社はこの2S(Seiri、Seiton)にさらなるSである、

Safety(安全)

これを加えた3S活動をH29年より行っている。

14

鑄造部 3S活動

3S活動を推進する目的として、今まで行っていた小Gr活動を改革。R1年から月に1回上長を交えて行い、内容も正式に記録しやるべきことに責任を持たせた。

現場班長のリーダーシップのもと、全員参加で更なる安全に向け活動に勤しんでいる。



造型班：安全目標への取組



溶解班：班会議風景

15

鑄造部 3S活動

◎現場改善例：火の粉の飛散防止策(Safety)

改善前



・Mgワイヤーの処理中に鍋からの飛び火で作業員が火傷を負ってしまう可能性があるため、この危険性を排除したい。

改善後



・防火ボードを設置することで火の粉の飛散が減少した。
これにより火傷による負傷のリスクも大幅に低減された。

16

鑄造部 3S活動

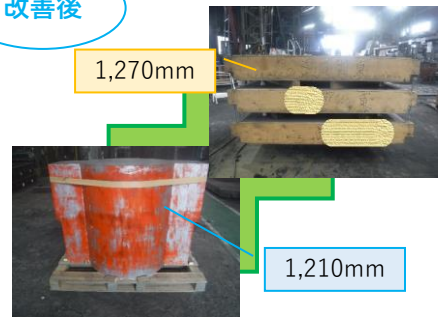
◎現場改善例：木型運搬方法の改善 (Safety)

改善前



・この木型をフォークリフトにて運搬する際、背が高く前方の確認ができないので非常に危険である。

改善後



・上部木型専用の運搬定盤を作成した。背が低くなったことにより、前方を確認しながら運搬が可能になった。また、定盤には外れ止めを付けているので木型が転倒することもなくなった。

17

鑄造部 3S活動

◎現場改善例：残材消火時間の短縮(Safety)

改善前



・溶解終了後の残材消火作業だが、人力で1時間以上放水せねばならず、熱中症の危険性が高い。(R/A案件)

改善後



・キュボラ用の冷却水を残材に浴びせられるように排水溝を数ヶ所に取り付けた。これにより倍以上の速さで消火作業が完了するようになり、熱中症の危険性も低減できた。

18

鑄造部 3S活動

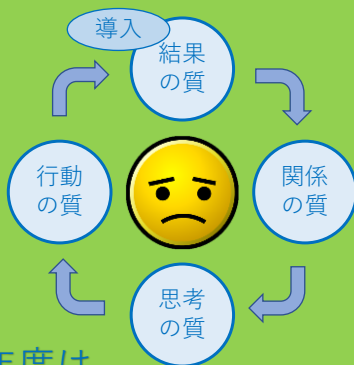
2020年度の3S改善件数は

71件(月換算：6個)

活動を開始した年度は17件しか出なかったので大きな前進である。

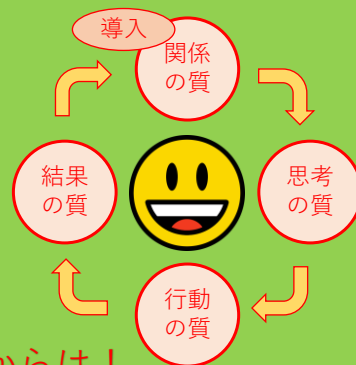
19

鑄造部 3S活動



H29年度は、

- 1.結果の質：成果(安全)がでない
- 2.関係の質：対立・押しつけ
- 3.思考の質：受け身・失敗を恐れる
- 4.行動の質：自己中心・消極的
- 5.結果の質：さらに成果(安全)が出ない



R1年からは！

- 1.関係の質：対話生まれる
- 2.思考の質：気づきや良いアイデアへと
- 3.行動の質：挑戦・助け合い
- 4.結果の質：自ずと良い職場に
- 5.関係の質：さらに信頼があがる

20

まとめ

安全への意識付け

無災害記録の設置。
ヒヤリハットの報告や安全パトロールの充実・強化

見える化の推進

安全掲示板を屋外に設置、「見える化掲示板」の作成
3S活動の活性化

「現場力」の強化

リーダーシップ・コミュニケーションの強化
リスクへの感度向上

安全記録 3000日

21

まとめ

2021年度からも

安全に対する意識改革

全員参加で

リーダーシップの強化

安全記録 4000日へ

22

謝辞

ご清聴ありがとうございました。